

脱成長では環境問題は解
決しない

柿埜真吾

『人新世の「資本論」』 ブーム

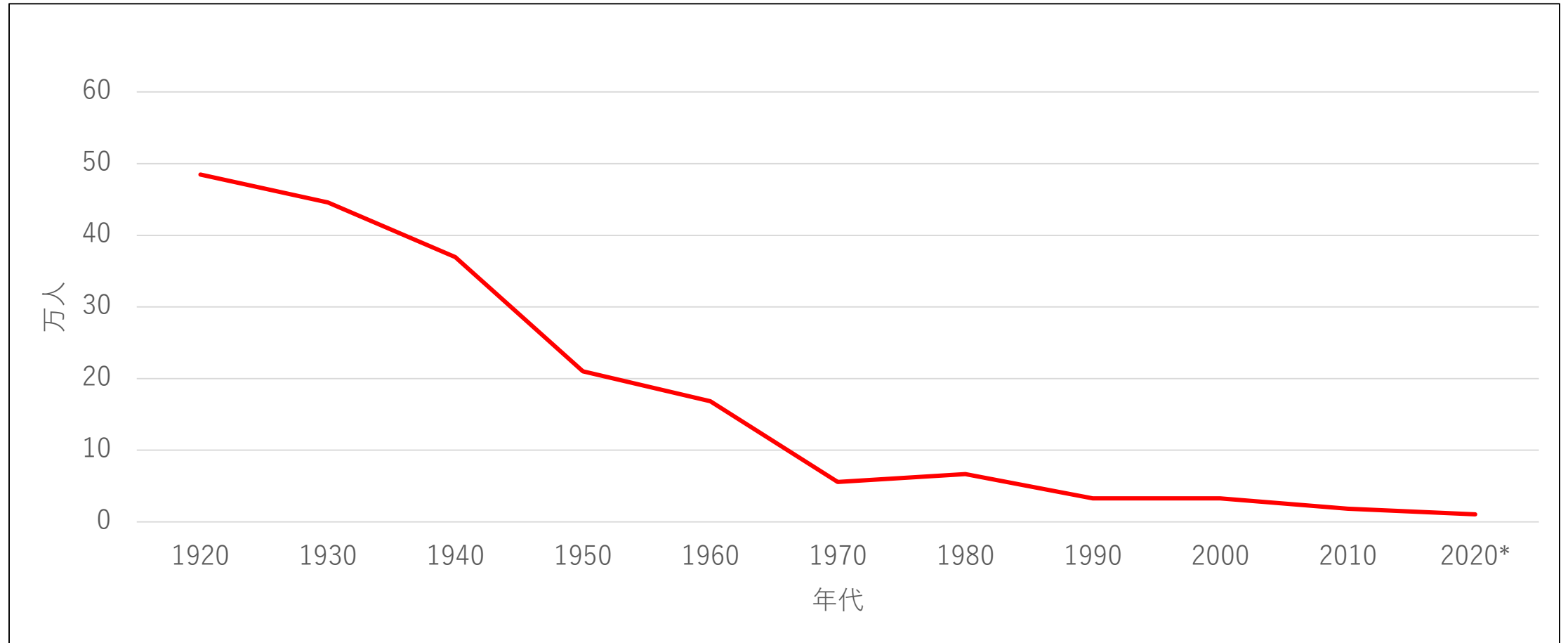
- **資本主義は終わった？経済成長はしなくていい？**
- コロナ禍の閉塞感が広がる中、反資本主義、脱成長ブーム
- 斎藤幸平氏の『人新世の「資本論」』は50万部突破の大ベストセラーとなる。
- グレタ・トゥンベリ氏の気候ストライキ
- **根拠なき通念**
- 温暖化は資本主義の産物？
- 資本主義、経済成長は環境を破壊し、地球温暖化で人類滅亡？
- 資本主義と経済成長で人類はどんどん悲惨になっている？



温暖化はもちろん問題だが、世界の終わりではなく、対処可能な問題にすぎない

- **常識的な温暖化研究は温暖化終末論を否定**
- マイケル・マン(ペンシルバニア州立大学名誉教授)
- 「**終末論の予測は温暖化否定論と同様に有害**」(Mann et al., 2017)。
- 環境保護活動家マイケル・シェンバーガー氏
- 「**これまで信頼できるいかなる科学団体も気候変動が文明の崩壊やまして人類の絶滅をもたらすといったことはない。**」(Shellenberger, 2019)。
- **温暖化で異常気象激増といった報道は誤り**(杉山, 2021)
- **温暖化の被害の経済学的推計**
- 4度気温上昇のケースでさえ、GDPの5%程度。極端な温暖化が進んだとしても100年後の人類は今より豊か(Tol, 2019, ノードハウス, 2015, 176-178)。
- **合理的な温暖化対策とは？**
- **災害対策を強化し、炭素税で外部不経済に対処。**恣意的に特定産業を支援するのは誤り。**活気ある市場経済の下での経済成長が何よりの対策。**

気象関連災害の死者数の推移(1920-2021)

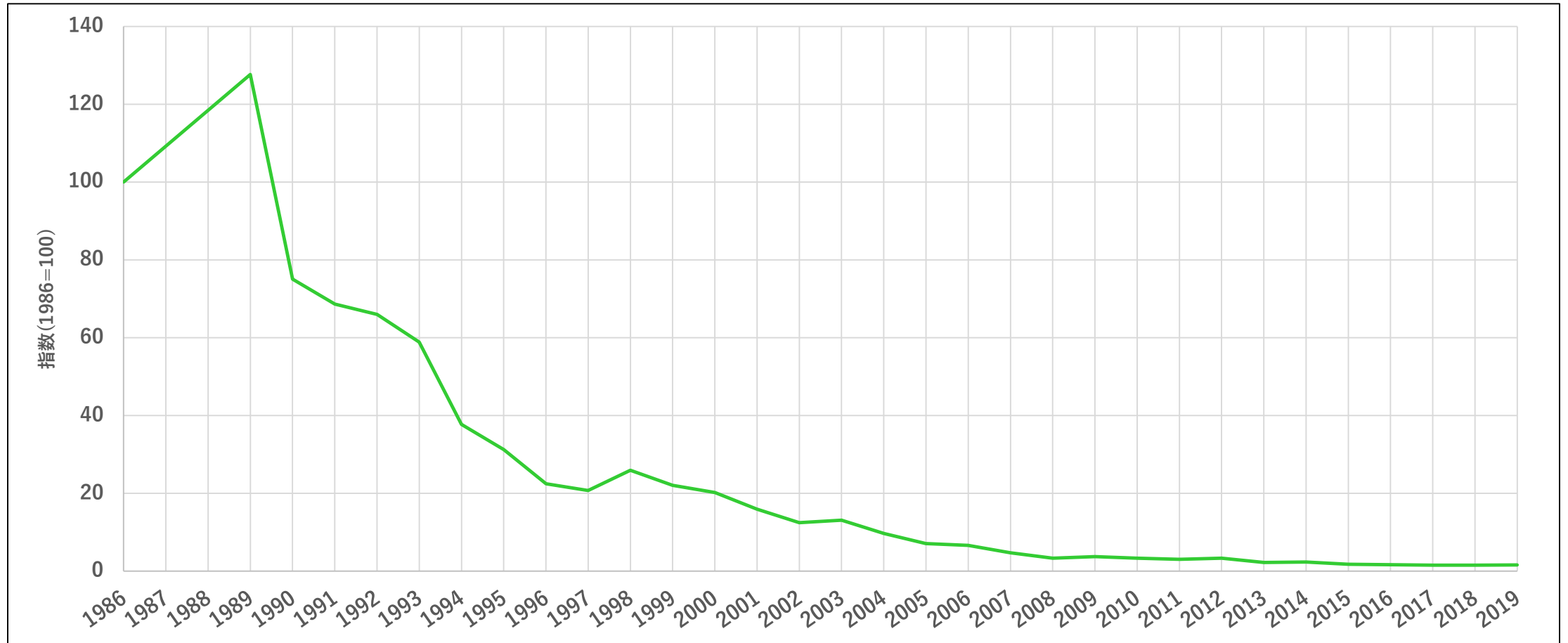


出所：EM-DAT database. 各年代の平均値.2020年代は2020-21年の平均値(暫定値).

サッチャー、レーガンの「新自由主義」 は地球を救った

- 「**人新世**」は資本主義、特に「**新自由主義**」のせい？
- Crutzen(2006)は「人新世」特有の現象としてフロンの使用と温暖化に言及。
- 「人新世」は「20世紀後半の新自由主義の産物である」(パルソン, 2021, 137)
- 「新自由主義理論」や「新古典派経済学」が人新世の原因(Steffen, et al., 2011, 850, 862)
- **事実：地球環境が改善されたのは「新自由主義」のおかげ。**
- 「最も成功した環境条約」**モントリオール議定書**
- フロンガス禁止を実現したのは、サッチャー英首相、レーガン米大統領、マルルーニー加首相のリーダーシップ。
- 自由市場を支持しつつ、市場の失敗に迅速に対処。⇒フロンの禁止でオゾン層の破壊が停止。フロンは温室効果を持つのでフロン禁止で21世紀の0.5~1°Cの気温上昇が阻止された(Young et al., 2021)。

オゾン破壊物質の排出量の推移(1986-2019)

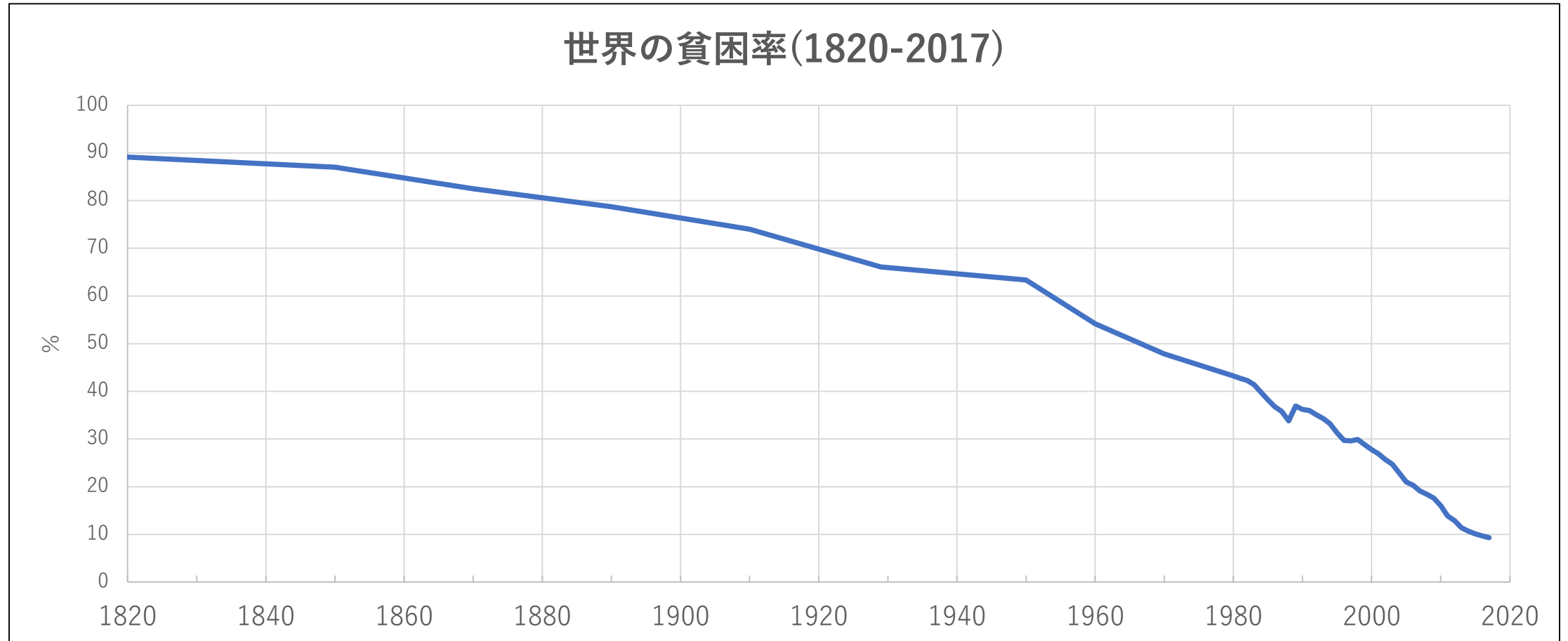


出所：European Environment Agency(2021)

経済成長、技術進歩は問題ではなく、問題の解決策である

- **貧困解消、環境問題解決にも経済成長が不可欠**
- 経済成長と技術進歩はこれまで様々な環境問題を解決してきたし、これからもそうである。人間は後ろに進むようにはできていない。
- **市場経済は自発的交換に基づくプラスサムゲーム**
- 競争的資本主義は技術革新を生み出し、経済成長をもたらす。
- 産業革命以来、世界の貧困率は90%から9%に低下。
- 平均寿命は30歳前後から70歳以上に上昇。現代ほとんど人々が健康で文化的な豊かな生活を送っている時代はない。

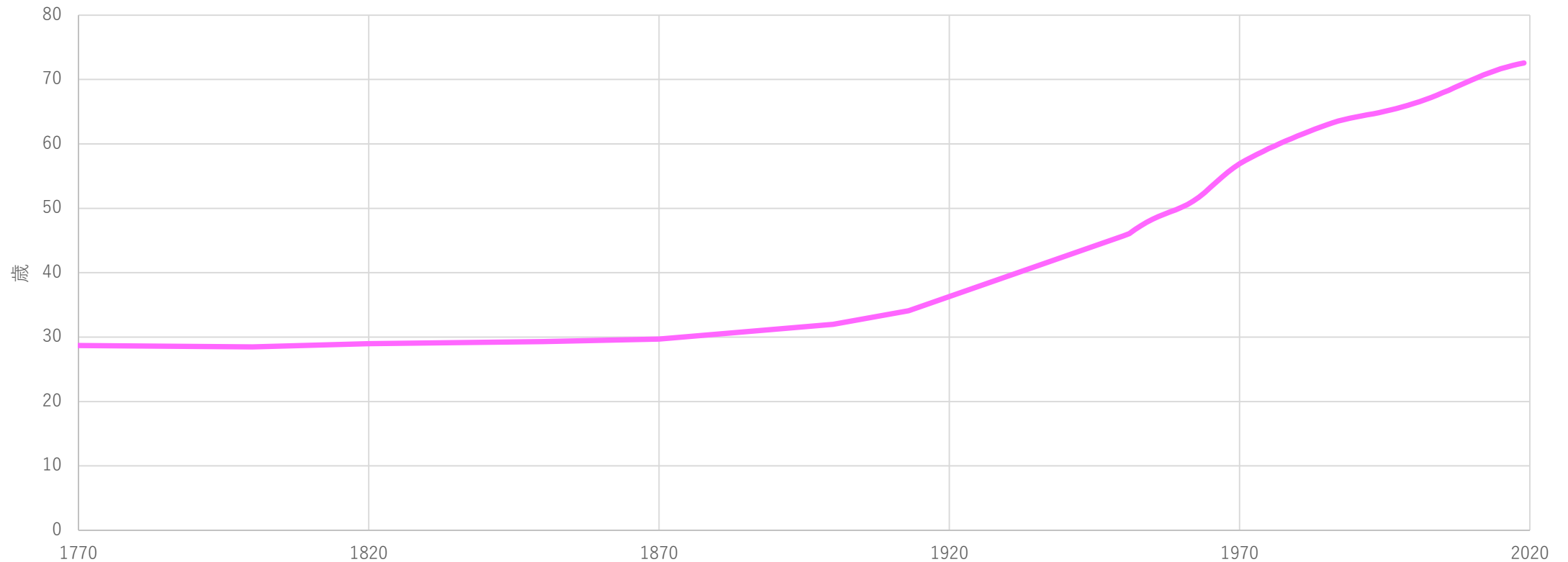
資本主義の下での経済成長で貧困は劇的に減少



出所：Roser and Ortiz-Ospina(2013)及びWorld Bank

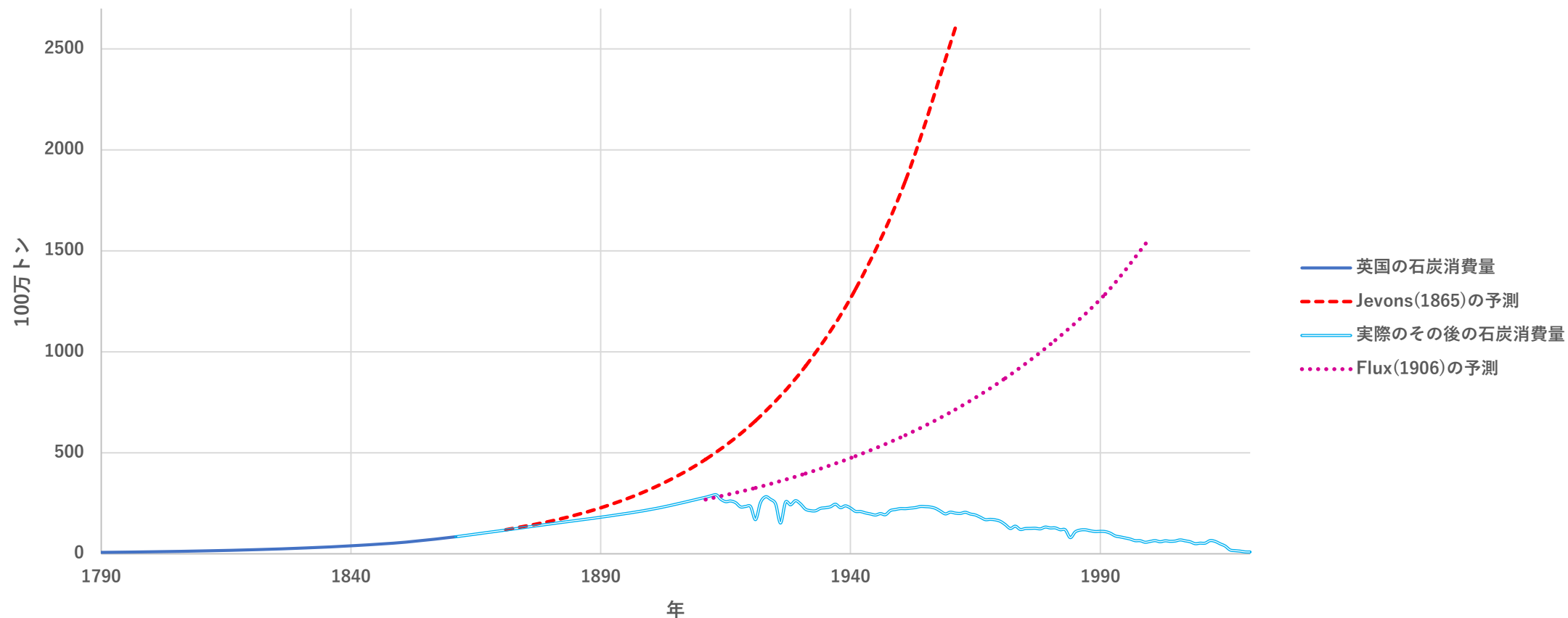
人類はより健康になっている

世界の平均寿命(1770-2019)



出所：Roser and Ortiz-Ospina (2016) 及びWorld Bank

英国の石炭消費量 悲観論者の予測はいつも間違っていた



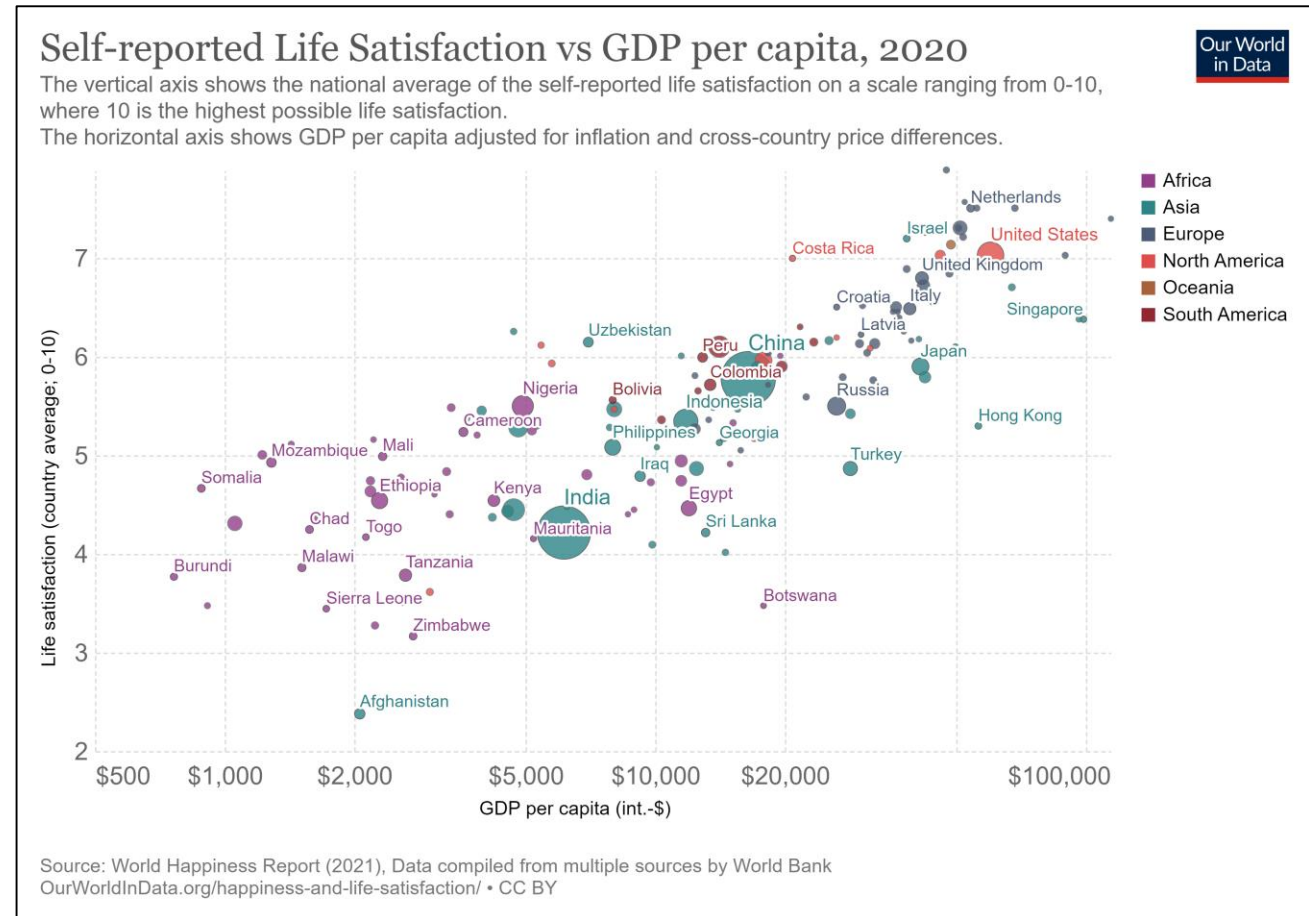
出所:英国の石炭消費量はJevons(1906)の推計値。実際のその後の消費量はThe Department for Business, Energy and Industrial Strategy(2021)。ただし、1913年までは暦年データが利用できないため推計値を用いている。Jevons(1906)の予測はJevons(1906)、Flux(1906)の予測はFlux(1906)による。

共産主義は環境に悪い

- **「20世紀最大の環境破壊」 アラル海の消失**：かつて世界第4位の塩湖だったアラル海はソ連の無謀な灌漑事業で消滅の危機。周辺では病気が蔓延。
- **ウラル核惨事からチェルノブイリ原発事故に至る原子力関連の事故**：ソ連は当初から事故と失敗続きだったが、情報隠蔽でごまかされていただけ。
- **エネルギー浪費と大気汚染や温暖化**：最悪の大気汚染は共産圏の特徴。現在、温室効果ガス排出国1位は中国(30%)。
 - 中国は世界の石炭の50%以上を消費。石炭生産能力の61%は国有企業、33%は準国有企業が支配(Hervé-Mignucci et al., 2015)。政府の補助金と価格統制が浪費を促進。
- **共産主義の下で環境破壊が進むのは必然**：価格メカニズムがない共産主義経済では、資源を節約するインセンティブがない。政府から独立したメディアがなく、チェック機能も働かない。
- 斎藤氏の脱成長コミュニズムも実態は同じ。

脱成長という悪夢

- 脱成長は責任放棄
- 低所得で幸福な国はない。
- 脱成長 = 超緊縮路線
- 当然国民の反発を招く。
- 極右・極左等の過激派台頭
- ゼロサム社会は差別が横行
- 全体主義社会への道



民主主義が後退したのは正に「脱成長」 が実現したとき

図7 民主主義国数(1820-2018)



出所：Polity Project Database

脱成長は民主主義を破壊する

- **大恐慌の教訓**

- 大恐慌の下、多くの国で極右・極左が台頭、民主主義が崩壊。
 - ナチスが政権をとったドイツ、政党政治が崩壊した日本

- **経済停滞は安全保障上のリスクですらある**

- 大恐慌からの景気回復の遅れたフランス、ポーランドはナチス・ドイツの前になすすべもなく敗退。
 - 不況で国内の分断が激化したフランスは一致団結できず、対独協力者に乗っ取られた。戦争の勝敗には経済力が大きく関係。
- 脱成長論は安全保障上のリスクを無視したユートピア。

環境テロリズムにNoを！

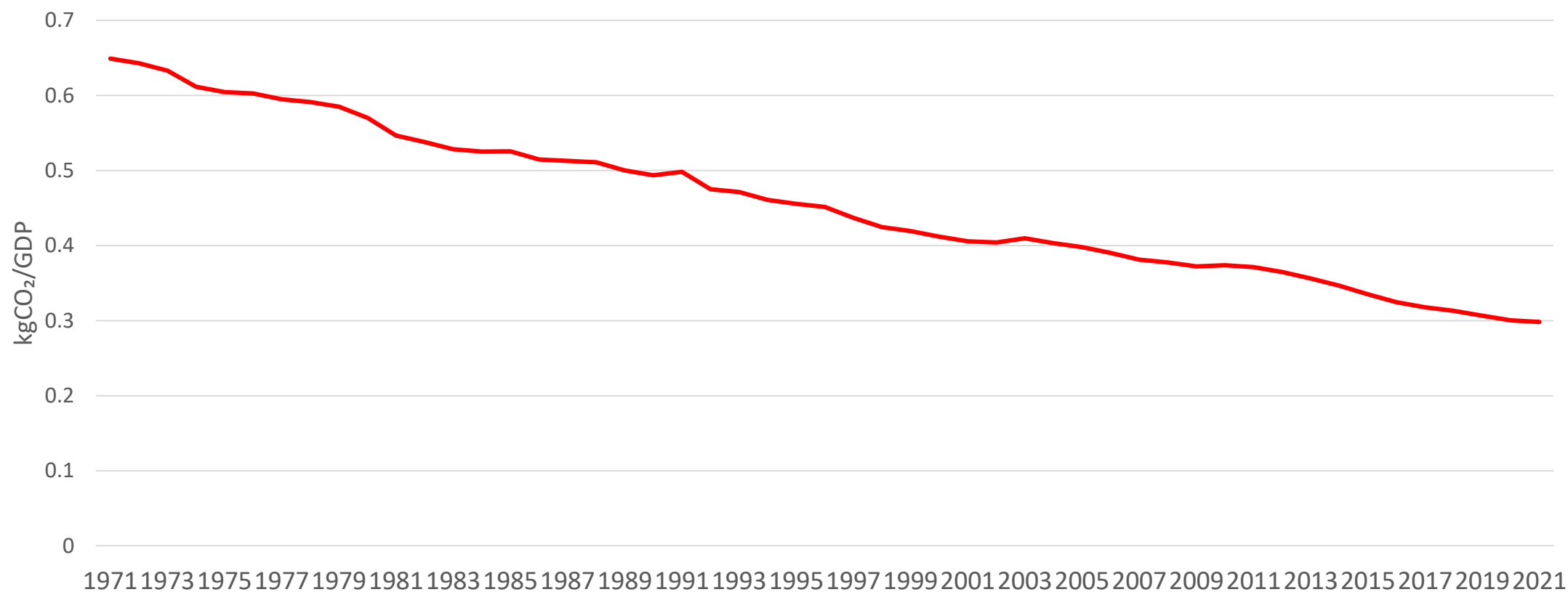
- 脱成長・エコテロリズムは環境を口実にした革命運動
- 温暖化終末論を口実に、注目を集めるために無関係な標的（美術館の絵画、地下鉄）などを狙う手法はテロリストそのものの。
- エクステンクション・レベリオン(XR)は環境団体ではない
- 「XRは気候に関するものではない。ご存じだろうが、気候の崩壊は有害なシステムのもたらす症状に過ぎない。これは我々が人間としてお互いに関係を築き、全ての生命と関係する方法に感染した有毒なシステムなのである。それは、ヨーロッパ“文明”が過去600年間の植民地主義の残虐行為と暴力によって世界中に広まった時に特に酷くなったのだが、感染の起源はもっと前にある。〈…中略…〉だから、XRは気候に関する団体ではないし、気候正義(もちろんそれは重要だが)に関する団体でさえないのだ。」([Stuart Basden, “Extinction Rebellion isn’t about the Climate,” Extinction Rebellion, 2019, January 11](#))。

* バースデンはXRの創設メンバーの一人。

後ろ向きの温暖化対策ではなく、前向きな温暖化対策を

- 温暖化問題は、自然な経済成長と技術革新で大部分解決可能。
 - 1970年代以降、GDP 1 単位当たり炭素使用量は世界的に減少傾向。
 - 温暖化対策のためというよりも技術進歩とサービス経済化。
 - 温暖化阻止よりも温暖化適応・抑制の方が低コスト。
- 温暖化問題を口実にした不合理な規制を一掃し、科学的な対策を。
 - 研究開発、技術革新の促進は政府の役割だが、産業政策は不要。
 - 炭素税は理論上は外部不経済を是正するピグー税。ただし、拙速に高すぎる税率で導入すべきではない。科学的知見を踏まえながら、低率で段階的に導入し、それ以外の温暖化関連規制・税制を打ち切ることが条件。
 - 炭素税は所得分配上も厄介な問題。例)フランスの黄色いベスト運動
 - 炭素税導入の際にはその分大規模な減税・規制負担軽減が必要。
 - 無駄な環境対策を炭素税に一本化すれば規制はむしろ減る。再生エネルギー固定価格買取制度、森林環境税、自動車重量税、ガソリン税等を廃止し、レジ袋有料化等消費者に不便を強いるだけの無意味な規制も打ち切るべき。

(参考) 世界のGDP当たりCO2排出量



出所：Global Carbon Atlas

後ろ向きの温暖化対策ではなく、前向きな温暖化対策を

- **温暖化対策、環境対策の目的を勘違いしてはいけない**
- 究極の目的は豊かな国民の生活。
- 脱成長は本末転倒で温暖化対策どころか気候関連災害の被害を拡大。
- 石炭へのヒステリーは非生産的。途上国は当面は石炭火力に依存し続ける。石炭禁止を急進的に推進するのは不可能。
- 最終的に脱炭素が実現できればよい。脱炭素自体も目的は豊かな国民生活であることを忘れるべきでない。
- 人類はこれまでも様々な問題乗り越えてきた。究極的には経済成長、競争的な資本主義の下でイノベーティブな社会を保つことが最大の温暖化対策。

参考文献

- 柿埜真吾(2021)『自由と成長の経済学』PHP新書.
- 斎藤幸平(2020)『人新世の「資本論」』集英社新書.
- 杉山大志(2021)『地球温暖化のファクトフルネス』電子書籍出版代行サービス.
- パルソン、ギスリ(2021)『図説人新世：環境破壊と気候変動の人類史』梅田智世訳, 東京書籍.
- ノードハウス、ウィリアム(2015)『気候カジノ：経済学から見た地球温暖化問題の最適解』藤崎香里訳. 日経BP社.
- Basden,S.(2019). “Extinction Rebellion isn’t about the Climate,” Extinction Rebellion, 2019, January 11
- Crutzen, P. J. (2006). The “anthropocene”. In *Earth system science in the anthropocene* (pp. 13-18). Springer, Berlin, Heidelberg.
- Mann, M. E., Hassol, S. J., and Toles, T. (2017) “Doomsday scenarios are as harmful as climate change denial,” *Washington Post*, July 12, 2017
- Esteban Ortiz-Ospina and Max Roser (2013) - "Happiness and Life Satisfaction". Published online at OurWorldInData.org. Retrieved from: '<https://ourworldindata.org/happiness-and-life-satisfaction>' [Online Resource]
- European Environment Agency(2021) “Consumption of controlled ozone-depleting substances (ODS) (EU-27 + UK and global level),” Published 15 Sep 2021, Last modified 15 Sep 2021.URL: <https://www.eea.europa.eu/data-and-maps/figures/consumption-of-controlled-ozone-depleting-2>
- Flux, A.W.,(1906), "Preface to the third edition," in *The coal question : an inquiry concerning the progress of the nation, and the probable exhaustion of our coal-mines*, 3th ed.,(i-xxxvii), Macmillan,

参考文献

- Hervé-Mignucci, M., Wang,X., Nelson,D., Varadarajan, U. (2015). “Slowing the Growth of Coal Power in China: the Role of Finance in State-Owned Enterprises,” Climate Policy Initiative.
- Jevons, W. S. (1906), *The coal question : an inquiry concerning the progress of the nation, and the probable exhaustion of our coal-mines*, 3th ed., Macmillan.
- Roser, M., and E. Ortiz-Ospina(2013), “Global Extreme Poverty,” Published online at OurWorldInData.org. Retrieved from: '<https://ourworldindata.org/extreme-poverty>' [Online Resource]
- Roser, M., E. Ortiz-Ospina and H. Ritchie (2013) - "Life Expectancy". Published online at OurWorldInData.org. Retrieved from: '<https://ourworldindata.org/life-expectancy>' [Online Resource]
- Shellenberger, M.(2019).“Why Apocalyptic Claims About Climate Change Are Wrong,”*Forbes*, November 25, 2019.
- Steffen, W., Grinevald, J., Crutzen, P., and McNeill, J. (2011). “The Anthropocene: conceptual and historical perspectives,” *Philosophical Transactions of the Royal Society A: Mathematical, Physical and Engineering Sciences*, 369(1938), 842-867.
- The Department for Business, Energy and Industrial Strategy(2021),“Historical Coal Data: Coal Availability and Consumption, 1853 to 2020,” Gov.UK website, URL: <https://www.gov.uk/government/statistics/solid-fuels-and-derived-gases-chapter-2-digest-of-united-kingdom-energy-statistics-dukes>
- Tol, R. S. (2019). “The impact of climate change and the social cost of carbon,” In *Routledge Handbook of Energy Economics* (pp. 253-273). Routledge.
- Young, P. J., et al.(2021). “The Montreal Protocol protects the terrestrial carbon sink,” *Nature*, 596.7872: 384-388.